

平成29年 5月23日

沖縄県政記者クラブ幹事社  
NHK沖縄放送局 様  
報道各社 様

特定非営利活動法人 日本防災士会  
沖縄県支部長 新城 格

NPO 日本防災士会沖縄県支部結成式典及び祝賀懇親会 取材依頼

標題の件につきまして、下記のとおり開催します。

これら式典及び祝賀懇親会について、取材のうえ報道していただき、地域の防災・減災リーダーとなる防災士への理解、県民の防災意識の向上に資することができれば幸いです。

記

- 1 特定非営利活動法人 日本防災士会沖縄県支部結成式典 日時  
平成29年5月27日（土）午後3時00分～おおむね1時間
- 2 沖縄県支部結成祝賀懇親会 日時  
平成29年5月27日（土）午後4時00分～午後6時00分
- 3 開催場所  
沖縄県那覇市旭町7番地 サザンプラザ海邦  
結成式典～ 「琉球の間」 祝賀懇親会～ 「ゆうなの間」
- 4 出席者 約40人（呼びかけ）  
防災士会員（県内、本部役員、九州ブロック支部連絡協議会各県支部長等）  
来賓～沖縄県市長会会長、沖縄県町村会会長、沖縄県防災危機管理課長、沖縄気象台  
台長、消防協会長のほか、賛助会員等
- 5 沖縄県支部結成に至った経緯

沖縄県での防災士の結集は、2014年（平成26年）9月14日に6人の陣容で九州ブロック支部連絡協議会傘下のもと、「沖縄県ブロック」の命名を協議会会長からいただき産声をあげました。

当初は、各自治体はじめ県民も防災意識の低さから防災士に対する理解はなく、防災士個々の地域における自主防災組織活動や新聞投稿、自治体等への講話の売り込み等を行うなどした結果、各方面から講話要請等もありマスコミでも取り上げられるようになっていきます。

これまで日本防災士会本部や九州ブロック支部連絡協議会九州各県支部からの指導、支援等によって日本防災士会加入者も増え、今年4月15日に念願の「沖縄県支部」結成に至りました。

これから沖縄県支部は、無理なく着実に少しずつ組織強化を図り、行政との連携、県内地域における防災・減災活動に取り組んでいきたいと思っています。

※ 「防災士とは、日本防災士会と沖縄県支部、活動状況」については、別添参照。

### 【防災士とは】

防災士とは、特定非営利活動法人日本防災士機構（東京都千代田区。古川貞二郎会長）が認証する民間資格で、「“自助”、“互助”、“協働”を原則として、社会のさまざまな場で、減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人」のことを言います。

1995年に発生した阪神・淡路大震災では6,434人もの尊い人命が失われ、経済被害は約10兆円にもものぼりました。この震災で明らかになったことは、災害列島と呼ばれるわが国においては、「事前の防災対策」と「災害発生時の応急対応（減災活動）」の両面について「全国的な備えが必要」だということです。

この教訓を活かすために、地域防災力の向上を担う新しい民間の防災リーダーを飛躍的に拡大・養成することをめざして、特定非営利活動法人日本防災士機構が設立され、2003年10月に初めての防災士が誕生し、防災士制度がスタートしました。

2017年4月末現在で140,424人が登録され、沖縄県内では、344人が登録されています。

### 【日本防災士会と沖縄県支部】

日本防災士会は、防災士の資格を有する有志で構成された特定非営利活動法人（NPO 法人）です。現在の会員数は8,266名（平成29年4月末日現在）です。

日本防災士会は、会員相互の交流と親睦を図り、一人ひとりのスキルアップと地域防災力の向上をめざし、安全で安心な社会の実現のために活動しています。

各県、地域（特別区等）で支部が結成されています。

沖縄県支部は、今年2017年4月15日にこれまでの「沖縄県ブロック」を解消し、発展的に「沖縄県支部」を結成しました。現在、26人の防災士会員と9人の賛助会員がいます。

### 【沖縄県支部の活動状況】

これまで組織としての活動は、年に数回集まり、本部や九州ブロック支部連絡協議会主催の「スキルアップ研修会」の報告等により会員のスキルアップを図っています。

会員個々の活動が多く、自治会長、自主防災会役員、地域での防災リーダーとして地域における防災訓練をはじめとして、防災講話の実施、DIG、HUG等の指導を行っています。

会員の中には、自治体の職員として、防災危機管理部門での勤務を通じて防災講話の実施、自主防災会組織づくりの支援にも携わっています。

また、会員の中には、ボランティア活動隊を編成して東北や熊本地震後のボランティア活動で現地を繰り返し訪れて激励、復興支援活動も行っています。

自ら「NPO 八重山ハザードマップ研究会」を立ち上げて、地域、子ども会を巻き込んで、楽しみながらの防災力を身につけるイベント（「防災キャンプサイトマーケット」）を実施している会員もいます。

沖縄県や自治体、地域の公民館からの防災講話の依頼も増えている状況にあります。

自治体から地域における防災訓練、防災講話等の実施・連携について協定を結びたいとのアプローチもあり、今後は、自治体・行政との連携が密になり、さらなる活動に期待が寄せられています。